

# ひたちとアジア

第63号

2020年(令和2年)3月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

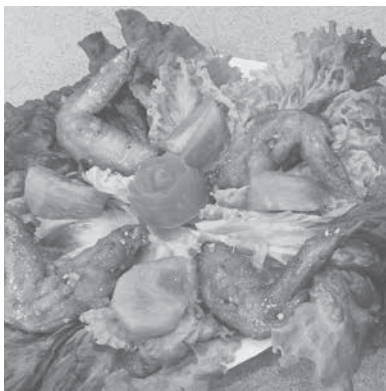
## 「アジア料理サロン」、「研修ツアー」次年度に向けて

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「アジア料理サロン」(2月29日)と「研修ツアー」(3月3日)が中止となりました。大変残念ですが、次回開催に向け進めていきます。

### アジア料理サロン「インドネシア・ベトナム」

本番2週間前の2月16日(日)、日立シビックセンター料理室にて、講師の茨城キリスト教大学留学生6人と当会の料理チーム7人の計13人で料理の試作会を行いました。今回はその際の様子をお伝えします。

当日は、買い出しから。食材ひとつとっても、留学生が思うものと、日本で揃うものでは異なるものもあり、留学生と話しながら材料を探していく作業はとても新鮮でした。



揚げ鳥とヌクマム

買い出しから戻ると、いよいよ調理開始です。2班に分かれ、ベトナム料理「揚げ鳥とヌクマム」と、インドネシア料理「プルグデル ジャグン」を試作。1時間30分程で完成し、参加者皆で試食をしました。

「揚げ鳥とヌクマム」は、鳥の手羽先をヌクマム(魚醤)に漬け込み炒めたもので、甘辛のヌクマムソースは手羽先にとっても合っていました。

盛り付けにも一工夫がありました。鳥の羽を横して手羽先を並べ、トマトは、薄く皮をむき、バラの花のように巻いて中央部分に。「バラ細工」は、苦戦しましたが、このような盛り付け方もあるのだと楽しい発見でした。

「プルグデル ジャグン」は、日本のコロケのようなもので、「プルグデル」はコロケ、「ジャグン」はトウモロコシという意味だそうです。

付け合わせのソースは、唐辛子と酢、砂糖などを混ぜ合わせたもので、少々刺激のある味でした。



プルグデル ジャグン

留学生からは両国の料理や民族衣装、結婚、就職のことなど様々なことを教えてもらいました。本番ではそのようなお話もしてもらう予定でしたので、大変残念でなりません。教えてもらった料理を紹介してお礼に代えさせていただくとともに、茨城キリスト教大学留学生と同大学地域・国際交流センターの皆様がこの場をお借りして感謝申し上げます。

今後もこのような食をとおした国際交流の機会を設けていきたいと思います。



茨城キリスト教大学留学生の皆さんと当会会員

### 東京国立博物館&日本アセアンセンター視察ツアー

3月3日(火)に開催予定でしたが、2月21日(金)の定例会での議論の末、中止としました。結果的には、訪問予定の東京国立博物館の特別展「出雲と大和」は、2月26日までで早期閉幕となり、妥当な判断でありました。皆さんが揃って参加できるような時期にまた開催したいと思います。

「フィリピンツアー」報告 ～辻ローナさん(当会会員)のふるさとを訪ねて～

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 副会長 菊池和雄

一昨年、当会の会員である辻ローナさん(以下ローナさん)のふるさとであるフィリピン訪問の話が持ち上がり、有志7名で今年の2月7日から7泊8日の日程で訪問しました。

出発前には、首都マニラから約60kmの距離にあるタール火山の噴火で一時空港が封鎖され、また、コロナウイルスの問題なども発生して出発が危ぶまれましたが、楽しみにしていた計画であり、リスクを覚悟して出発しました。

ツアー前半は、ローナさんのふるさとであるフィリピン・パ



ロハス市役所表敬訪問

ナイ島のロハス市を訪問しました。ロハス市は、首都マニラから約400kmの所に位置した人口13万人の市です。主な産業は漁業で、あちこちで魚を干している風景が見られました。ここでは、ローナさんの出身高校のクラス会、障がい者施設、介護施設、ローナさんの自宅を訪れ、また、ロハス市役所とカピア州県庁への表敬訪問も行いました。

ローナさんの出身高校のクラス会は、卒業生と現役生徒が毎年集まる会で、ミサも行われ、大変賑やかでした。

障がい者施設、介護施設では、ツアー参加者とローナさんの寄贈品、今回のために当会会員から寄付してもらって集めたタオルを一人ひとりに手渡しして慰問してきました。



障がい者施設訪問

ローナさんの自宅訪問では、蟹や海老などの料理と共にマンゴーなどの美味しい南国フルーツを楽しみました。また、私達の歓迎と従妹の看護学校合格祝いを兼ねたパーティーにも招待していただきました。パーティーは、ホテルレストランを貸し切った会場で行われ、ローナさんの親戚を含めた30名程の参加者と、フィリピンビールやワイン、バイキングの美味しい料理を堪能し、参加者皆と楽しく歓談しました。



介護施設訪問

ツアー後半は、ボラカイ島、タール火山、コレヒドール島を観光しました。

ボラカイ島は、首都マニラから200kmに位置した長さ7.5kmの細長い小さな島です。近年、世界有数のビーチリゾートとして、国際

的な観光地に発展しましたが、人口の増大による汚水や廃棄物の問題が発生したため、2018年に環境改善を目的に半年間、島の封鎖をしました。現在も道路や下水管理設などのインフラ工事が続いており、数年後には世界有数のビーチリゾートになるものと思われます。

タール火山は、周囲約80kmのカルデラ湖の中の小さな島にあり、噴火はこの島からしたそうです。噴火前のタール湖の眺めは、「フィリピン随一の絵のように美しく、魅力的な景色」と評されていましたが、噴火後の現在、緑の島は火山灰で覆われ、木は焼け焦げ、一帯は荒涼とした光景となりました。現地の方の話によると、噴火により湖の水位が上昇し、対岸の民家は水没してしまったそうです。

コレヒドール島は、マニラ湾の入り口に位置し、長さ6kmのおたまじゃくしのような形をした島で、日本とつながりが深い島でもあります。太平洋戦争でマニラを守る戦略上の拠点となり、日本軍とマッカーサー元帥が指揮する米比軍の激戦地となったためです。1945年になり戦況が悪化すると、最終的に日本軍は玉砕しました。島には、日本兵慰霊のための日本平和庭園もあり、慰霊碑や観音像が建立されていました。亡くなった日本兵に焼香をして慰霊をし、島を後にしました。

ツアー最終日の2月14日にフィリピンを出国し、無事帰宅しました。今回のツアーは、中身が濃く、様々な経験と勉強をさせてもらいました。

今回のツアーに際し、ご協力いただいた全ての皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



日本平和庭園 観音像

## 在住外国人向け施設見学会

# 2019.12.8(日) 「日立を楽しもうバスツアー」 参加報告

主催：日立国際交流協議会

「日立を楽しもうバスツアー」は今回で3回目の開催となり、日立消防署、日鉦記念館、中里交流センター、かみね動物園の4ヶ所を訪問し、「ヒタチを楽しもう！」と行われました。このツアーは、日立市居住の外国人を対象に実施され、当会はスタッフとして参加したので報告します。参加者は、外国人49人、ボランティアスタッフ9人、事務局2人で、合わせて60人となり、多くの参加者が集まりました。

当日は、バス2台で、日立駅海岸口と日立市役所でそれぞれ参加者を迎えました。

初めに日立消防署を見学。火災予防などの話を聞いた後は、言語別の2班に分かれて指令室や消防車の見学、火災の煙体験、消防服の試着をしました。

続いて、日鉦記念館に移動し、通訳スタッフによる英語の概要説明の後に施設を自由見学しました。

続いて、中里交流センターにて昼食となりました。昼食

は、中里地区の活性化活動を行っている「夢ひたちファームなか里」の皆さんによる中里産の材料を使ったおにぎりや漬物、大学芋、温かいカブが入ったクリーム煮などを美味しくいただきました。食後は、ガールスカウトの指導で、ジェスチャーによる伝言ゲームを行い、初対面の参加者も打ち解けました。

最後は、かみね動物園へ移動し、園長から動物園の概要説明を受け、自由見学しました。子どもから大人までとても楽しそうに見学していました。

今回訪問した施設では、それぞれ記念撮影を行い、思い出に残るツアーとなりました。初めて参加しま

したが、日立市で生活する外国人が増えつつある中、日立市の様々なことを知ってもらい、相互理解することはとても大切なことであると感じました。また、今後もこのような活動が継続しますことを願うものです。



かみね動物園にて

## 「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」と、日立市内の国際交流関連団体との交流記録

2019年12月～2020年2月

### ◆フレンドリーあんず主催 「文化交流と年忘れ会」に参加

【12/15 会瀬交流センター】

開会宣言の後に会長挨拶、来賓挨拶。日立さくら日本語学校の松浦校長先生も来賓参加。能楽、楽器演奏、作文朗読などがあり、ゲーム、抽選会の後、フレンドリーあんずの歌を全員で歌いました。

### ◆「パンダ誘致を応援する会」 発会式に参加

【1/12 日立シビックセンター】

茨城県と日立市が推進するかみね動物園へのパンダ誘致活動を、市民として応援することを目的に発足しました。鈴木一良代表、来賓の小川市長の挨拶のほか、市内お菓子屋さんのパンダ関連商品の紹介や意見交換を行いました。

### ◆公益財団法人日立財団主催 「おもてなしの心を超えて」 多文化共生社会の構築シンポジウムに参加

【1/26 日立シビックセンター】

女優サヘル・ローズさんが「夢をつなぐ 心をつなぐ」、武蔵大学のアンジェロ・イシ教授が「心の壁、言葉の壁、法の壁を考える」、名古屋大学の唐沢穰教授が「心の壁と格差社会」と題して講演しました。

### ◆日立市日中友好協会主催 「春節祭を祝う会」に参加

【2/1 日立市民会館】

立食で餃子、鳥のから揚げ、寿司ほか飲食物多数。森秀男会長、村本修司県会議員、吉成日出男副市長など来賓の方々の挨拶がありました。引き続き、恒例の抽選会、じゃんけん大会で盛り上がりました。

### ◆国際交流ボランティアネットワークさくら主催 さくら講演会「見て聞いてウクライナを知ろう」に参加

【2/16 日立シビックセンター】

講師は、ウクライナ出身のネケロワ・マリナさん。現在、筑波大学大学院人文社会科学部国際日本研究専攻で、日本語教育の研究をしており、チェルノブイリ原発事故やクリミヤ問題などについて聞くことができました。

情報コーナー

新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、掲載したイベントなどは中止または変更となる場合があります。詳しくは主催者にお問い合わせください。

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会講演会  
「実践！多文化共生—私たちにできることを考える—」

皆さんが考える自分たちにできる自分たちらしい多文化共生の形とはどのようなものですか。その答えを探求すべく、本講演では外国ルーツの子どもたちの現状と課題、多文化共生のきっかけ作りとなる実践例についてお話いただきます。



横溝 環  
(茨城大学人文社会科学部准教授)

日 時	令和2年5月23日(土) 午後2時から午後3時30分まで
場 所	日立シビックセンター 会議室502号(5階)
講 師	横溝 環(茨城大学 人文社会科学部 准教授)
受 講 料	無料(定員60名)
お申込み	令和2年4月19日(日) 午前10時から電話受付(TEL:0294-24-7711)

「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」会員募集

アジアを中心とした国々の文化・芸術を広める活動(講演会や料理サロンなど)を行っています。国際交流に興味のある方、ぜひ一緒に活動しましょう。



料理サロン試作会の様子

活 動 日	毎月第3金曜日 午後1時30分から午後3時まで(予定)
会 場	日立シビックセンター
会 費	無料(催しにより参加料がかかる場合あり)
お申込み	随時受付(T E L : 0294-24-7711)

関連団体のイベント・活動の紹介(2020年4月～6月)

日 時	タイトル	場 所	主 催	問合せ	
火曜 19:00～20:50	日本語教室	女性センター	フレンドリーあんず	0294-42-4448( 庄司 )	
金曜 14:00～16:00		教育プラザ2階 国際交流サロン		0294-36-5440( 長山 )	
土曜 18:30～20:30		水木交流センター		0294-53-6785( 平澤 )	
毎月1回水曜日 10:00～12:00		外国人のための 生け花クラブ		教育プラザ2階 国際交流サロン	0294-21-4150( 福地 )
6月14日(日)～ 16日(火)		ラオス国ハーケオ小学校 修学旅行 in 日立		日立市内	

活動記録 (2020.1.1～2.29)

- ◆活動推進部会(定例会)  
各月第3金曜日 1/17、2/21  
・広報チーム 2/21、2/29  
・料理チーム 2/16、2/21  
・研修見学チーム 1/20
- ◆令和元年度会員 134人(2/29現在)
- ◆活動推進部会 37人(2/29現在)

編集後記

日立市内に居住する外国人がフィリピン人の技能実習生を中心に増加し、2,000人近くとなりました。2年前の編集後記に「会に求められるものが外国の文化を知り相互理解することから、身近にいる外国人の方々との相互理解に変化してきたのではないかと書きましたが、改めてそう思います。具体的に何をすればよいのか会員の皆さんと考え具体的に活動できればと思います。外国人が増えることによって発生するかもしれない問題に対し、早めの準備を行い、大きな問題にならないようにしたいですね。(小澤 記)

～広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます～  
《お問合せ/入会希望など》ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局  
〒317-0073 日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター内  
TEL:0294-24-7711 FAX:0294-24-7970 E-mail:salon@civic.jp